

# 小都市における1才6カ月児健康診査

出口 雅 経（大村市医師会）

田 川 恒 之（　　＼　　）

大村市歯科医師会

田 中 久美子（大村市役所）

大 石 真知子（　　＼　　）

大村市保健所保健婦一同

## I 緒 言

1才6カ月児健康診断は幼児が健全なる運動機能の発達を示しているのか、離乳の完了と幼児食への移行が円滑に行われているのか、聴覚、視覚障害を有する幼児の早期発見としかるべき対策の実施、精神発達遅滞を有する幼児の早期発見とその対策の実施。う歯の防止と歯科学的検診指導。幼児の社会発達に関する適切なる評価並びに指導と母親の育児に対する理解の促進と学習指導により心身共に健全なる幼児の育成を目的とする健康診断である。我々は昭和52年10月より現在迄1才6カ月児健診を実施して来ており、健診本来の目的を如何にして達成せしめるか、如何にして充実した健診並びに指導を行うか検討を加えたので報告する。

## II 対照地域

大村市は長崎県のほぼ中央に位し、人口約63,000人で年間出生数は約1,000人である。

## III 健診の実施状況

昭和52年10月より毎月2回行っており、最初は中山方式に従い健診を実施していたが、昭和52年11月より検尿を追加し、12月より歯科医による歯科健診を実施し、昭和53年2月より第1表に示す問診票を各家庭に送付し健診日に持参せしめ、健康診査票と問診票を分離して能率の向上を計るようにした。1才6カ月児健診の衆知、広報を徹底させる方法として大村市政広報紙である「市政だより」に毎月掲載して健診日時を知らせると同時に該当児の健診日1週間前に「1才6カ月健康診査のおしらせ」のしおり、「1才6カ

月児健康診査アンケート」及び採尿パックとその使用方法説明書を同封した封書を対照個人宛に郵送して通知している。

### i) 1会場における健診従事者

小児科医1名、歯科医1名、看護婦2名、保健婦6名、栄養士1名、検査士1名、受付事務1名である。

### ii) 健診順序及び健診会場

健診の順序は2表に示す様に受付時間によりA、B、Cの3グループに分けて集団指導を実施すると共に身体諸計測、検尿、歯科検診、内科検診を行い、必要に応じて貧血検査を実施して最後に個別指導を行っている。

図1に示す様に大村市役所2階大会議室を会場として中央に黒板を置き健診の順序を明示して母親の困惑を避ける様に努め、待合場所を設置し中央部に広くスペースをとり、カーペットを敷いて種々の玩具、絵本を置いて健診児が退屈しないように努めた。集団指導として「かたこと時代」と云うスライド映写して母親の育児に対する理解、関心を高めるようにしており、又う歯防止の為の講話を行っている。

## IV 健康診査成績

### i) 受診数、受診率及び家族の背景

昭和52年10月より昭和53年2月迄の該当児は430名で受診者数364名、受診率85%であった。受診者の性別では男子185名(50.7%)、女子180名(49.3%)である。受診者の出生順位は第1子153名(41.9%)、第2子126名(34.7%)、第3子67名(18.3%)で、第4子2.2%、第5子0.8%、第7子0.2%であ

る。同胞はいない者127名(34.8%)、1人いる者143名(39.2%)、他に2人いる者70名(19.3%)、3人いる者9名(2.4%)、4人いる者3名(0.8%)等であった。

母親の年齢は20才未満1名(0.3%)、20~24才46名(12.7%)、25~29才180名(49.9%)、30~34才107名(29.6%)、35~39才21名(5.8%)、40才以上5名(1.4%)等である。

父親の職業は会社員、公務員等のサラリーマン68.9%、商工業11.2%、臨時日雇いその他10.1%、農業関係6.2%、魚業関係1.1%、医療福祉施設従事者1.1%である。

母親の学歴中学校卒26.3%、高校卒62.3%、短大卒4.2%、大学卒3.6%等であった。保育担当者は昼間の場合は母親67%、祖母16.6%、祖父0.8%で肉親84.4%を占め、他に保育所11.3%、託児所0.5%、知人1.9%であった。夜間は母親95.8%、祖母1.4%、祖父1.1%、父1.1%等である。

#### ii) 出生歴

妊娠中母親が健康であった者80.7%、何等かの異常を認めた者68名(18.7%)で個々の主な疾患を上げると妊娠中毒症15、早産9、貧血17、高血圧延5、切迫流産4等である。

分娩異常を訴えた者64名(17.6%)についてみると帝王切開26名、吸引分娩20名、微弱陣痛5名、早期破水4名、臍帯巻絡3名、弛緩出血2名等が揚げられる。

出生体重2,000g未満0.5%、2,000~2,500g未満4.9%、2,500~3,000g未満27.7%、3,000~3,500g未満45.2%、3,500~4,000g未満19.5%、4,000g以上は2.2%であった。

#### iii) 既往歴

健診迄に365名中227名が種々な疾患に罹患している。主な病名を上げると麻疹71名(25.2%)、消化不良症36名(12.8%)、自家中毒症13名(4.6%)、肺炎11名(3.9%)、そけいヘルニア4名(1.4%)、百日咳8名(2.8%)、流行性耳下腺炎3名(1.1%)、気管支喘息2名(0.7%)、心臓疾患2名(0.7%)、斜頸2名(0.7%)等である。その他の疾患として重複している風疹

9名、中耳炎8名等がある。

予防接種として麻疹ワクチン、ポリオワクチン、BCGについて調査してみると麻疹ワクチンを受けた者が43名(11.8%)、ポリオワクチン107名(29.3%)、BCG接種を受けた者86名(23.6%)であった。

#### iv) 乳児期の栄養別並びに幼児食への移行の時期、おやつについて

乳児期の栄養を母乳、混合、人工に分けてみると母乳36.9%、混合72%、人工36.9%に分けられた。離乳完了時期をみると1才未満で完了した者22.0%、1才~1才6カ月で完了した者73%、1才7カ月以上を要した者1.1%で、回答が得られなかった者3.9%であった。食事摂取で偏食の傾向にある者は42.7%で食事指導が望まれた。おやつの与え方として一定の時間を定め規則正しく与えられている者40.6%、だらだらと与えられている者が58.6%、もみられている。おやつの種類としては2種類以上が揚げられたが菓子、アメ類62.5%、牛乳、乳製品60%、果物46.6%、ヤクルト20.3%、その他となっている。

おやつを与える場合に保育者が栄養を考えて与えている者は43.6%で多くは周囲にある物を適当に与えている傾向にある。健診時に母乳やミルクを哺乳ビンで飲ませている者は以外に多く51.5%を占めていた。保育担当者は以外に虫歯にならない様子を気をつけており、配慮を示している者は73.7%、と極めて多い。

虫歯にならない様に具体的にどの様に心掛けているか例を上げてみると、できるだけ甘いものを与えないと答えた者43.6%、食後にお茶や水を与えている者60.8%、食後口を拭いている者2.4%、食後にはみがきを行っている者1.4%であった。

#### v) 生活習慣

排泄のしつけを始めている者79.2%、である。医療を要する程度の事故を起した者は58名(15.9%)で火傷16名、外傷25名、転落事故3名、交通事故1名、誤飲1名、不明12名であった。

我国では殆んど家庭にテレビが入っているの

で幼児とテレビの問題は重要な事である。我々は幼児がテレビを見る時はどの位の距離より見ているのかを調べてみると、50cm未満2.5%，50cm～1m未満18.4%，1m～1.5m未満36.7%，1.5m～2m未満28.5%，2m以上は11.2%であった。幼児は1日の中にどの位の時間テレビを見ているか調べてみると1時間未満23.8%，1～2時間26.6%，2～3時間19.2%，3時間以上15.9%で可成りの時間テレビを見るのではないかと思われた。

#### VI) 運動発達の状況

歩行開始の時期は9カ月未満0.5%，9～10カ月13.6%，11～12カ月40%，1才1カ月～1才2カ月29.3%，1才3カ月～1才4カ月13.7%，1才5カ月～1才6カ月1.6%，1才7カ月0.3%で、未だ歩く事が出来ない者0.5%である。健診時よく歩くと答えた者は98.6%，手を引かれて階段を上ると答えた者96.4%，鉛筆でなぐり書きが出来る者98.9%，水をコップで飲める者は99.2%，さじやフォークで食物を口に運ぶことが出来る者は95.9%である。

#### VII) 精神発達

おもちゃで良く遊ぶ者が99.3%，人まねをする者99.3%，絵本に興味を示す者98.9%と良好な発達を示していた。

#### 言語発達

ママ、パパなどと意味のある片言が云える者95.9%，名前を呼ぶとふり向く者100%，絵本を見て知っているものを指さす事が出来る者は94.5%であった。

#### 社会性の発達

相手になって遊んでやると喜ぶ者は99.7%であり、他の子供に対して関心を示す者は98.9%である。

#### VIII) 発育

第3表に示す様に極端に身長が高い者は0.5%，極端に低い者は4.9%である。体重についてみると97P<Aと体重が極めて重い者1.9%，極めて軽い者は1.4%である。Kaup指数をみると極度の肥満3.6%，極度の痩せ1.1%にみられている。

#### IX) 内科診療

受診態度が協力的であった者81.4%で、非協

力者18.3%で、非協力者は泣く者が多く、あばれる者は比較的少かった。胸部所見としてラ音を聴取した者1.4%，心雑音が聞かれた者0.9%，神経学的所見及び運動機能所見として異常と判定された者3名(0.9%)であった。

皮膚所見は湿疹17名(4.7%)，青白い3名(0.3%)，血管腫，あざ3名(0.3%)であった。眼科的所見では視力障害1名(0.3%)，その疑いがある者1名(0.3%)である。斜視は5名(1.4%)に認められている。聴覚は全員正常で聴力障害を有している者は5カ月間の健診では認めていない。血色素測定は原則として未熟児で出生した者，偏食の傾向が強い者，外見上貧血が推測される者について実施した。12名について血色素測定を行ったが $10g/dl \leq Hb \leq 11.5g$ であった者2名(0.6%)で血清鉄を測定した所鉄欠乏性貧血であった。

尿所見はテストテープで測定し+と判定した者1.3%，糖は+と判定された者はみられていない。

#### X) 歯科健診

虫歯1～4本5名(1.4%)，5～9本(4.9%)，10～14本(2.9%)，15～20本(6.25%)，う歯1本1名0.3%，2本1名0.3%，4本4名1.1%で1才6カ月児ですでにう歯発生をみているのには驚かされた。

#### IX) 総合判定

健康児326名89.3%，問題ありとされた者39名10.7%であった。問題ありとされた者を詳細に述べると血管腫3，運動機能のおくれ3，歩けない2でその中1名はHoffman氏病の疑いがある。包皮炎症1，ファロー四徴症の疑い1，百日咳の疑い1，斜視5，心雑音(機能性)2，胸部形成の異常1，皮膚疾患10，気管支炎3，右手第1脱臼1，蛋白尿4，右内反足1，陰嚢水腫1，そけいヘルニア1，言語発達のおくれ4であった。

#### XII) 指導区分

異常なし319名87.1%，助言指導1名0.3%，追跡観察13名3.5%，精検を要する者6名，治療を要する者27名であった。

## V タイムスタデー

第4表に示す様に中山式問診票を使用した場合を旧問診票、アンケート方式問診票を使用した場合を新問診票として両者を比較し平均必要時間を測定してみると問診は旧問診票12分、新問診票9.2分でアンケート方式の場合が時間が短かくて能率的であった。計測、歯科検診、内科診察、個人指導、集団指導に両者は大差なく、健診に要する時間は個人宛107分前後を要している。

## VI まとめ

1) 昭和49年度から2才児健康診査を大村市では実施していたので、1才6カ月健康診査への移行がスムーズに行われ、特に医師会、歯科医師会、保健所、在宅保健婦の協力が得られ円滑に実施出来ている。特に県保健所の保健婦の協力が2才児検診の時から得られている事は特筆すべき事であり、特に地方において1才6カ月児健診を効率的に充実した健診にする為には県保健所の市町村への協力がなくては実現出来るものではない。

2) 郵送によるアンケート方式問診票の採用により問診時間の短縮を計る事が出来た。また未受診者の把握、特に在宅脳性麻痺児の発見につながり、事後指導まで出来る様になり受診率の向上がみられた。

3) アンケートにみられた問題点と診察時の問題点が一致し、アンケート方式に対する信頼性が得られた。

4) 初期は検尿に際してコップを使用してみたが、時間を採取に可成り要していたが、採尿パックを使用した結果健診の流れがスムーズになった。

5) 待ち時間を利用し、スライド「かたこと時代」の映写やう歯予防の衛生教育を行い時間を有効に使用すると共に保育者の育児に対する関心の向上につながった。

6) 経過観察者に対しては家庭訪問や電話による相談に応じられるようになった。

7) 未受診者に対して民生委員に受診奨励をしてもらい受診率の向上を計っている。

第 1 表

郵便はがき

8  5  6  -

大村市玖島郷25番地

大村市役所生活環境課行

1歳6カ月児健康診査アンケート

※左端の枠内には記入しないで下さい。

④	住所	TEL	
③	氏名 (本人)	1 男	2 女
②	氏名 (父)	⑩ 職業	⑪ 職業
①	氏名 (母)	⑫ 年齢 (母)	⑬ 年齢 (母)
		年	月 日 生

1. 歩き始めたのはいつですか ( )
2. よく歩きますか 1.はい 2.いいえ
3. 手を引いて階段をのぼりますか 1.はい 2.いいえ
4. 鉛筆を持ってなぐり書きをしますか 1.はい 2.いいえ
5. 目つきや、目の動きが悪いという心配がありますか 1.はい 2.いいえ
6. よく見えていいると思いますか 1.はい 2.いいえ
7. 名前をよぶとふり向きをしますか 1.はい 2.いいえ
8. 耳が遠いという心配がありますか 1.はい 2.いいえ
9. テレビはどれ位の距離で見ますか (1)50cm未満 (2)1m未満 (3)1m~1.5m未満 (4)1.5m以上 ( )時間
10. テレビは一日平均何時間位見ますか ( )時間
11. おもちゃで遊びますか 1.はい 2.いいえ
12. 人のまねをしますか 1.はい 2.いいえ
13. 絵本に興味を示しますか 1.はい 2.いいえ
14. 絵本を見て知っているものを指さしますか 1.はい 2.いいえ
15. ワンワン、プープーなど意味ある片言をいいますか 1.はい 2.いいえ
16. 相手になると喜びますか 1.はい 2.いいえ
17. 他の子供に関心を持ちますか 1.はい 2.いいえ

18. 母乳や哺乳びんはもうやめましたか 1.はい 2.いいえ
19. 水をコップで飲めますか 1.はい 2.いいえ
20. スプーンを持って自分で食べようとしていますか 1.はい 2.いいえ
21. 3度の食事は大人と同じものですか 1.はい 2.いいえ
22. 栄養のバランスを考えて料理をしていますか 1.はい 2.いいえ
23. 子供のための調理の工夫をしていますか 1.はい 2.いいえ
24. 食物に好き嫌いがありますか 1.はい 2.いいえ
25. よく食べますか 1.はい 2.いいえ
26. おやつを食事の一部と考えていますか 1.はい 2.いいえ
27. おやつを時間を決めていますか 1.はい 2.いいえ
28. おやつは主に何を与えていますか (2つまで)  
(1)菓子・アメ類 (2)牛乳・乳製品 (3)果物 (4)汁・ジュース (5)その他
29. 何か心配ごとがあり相談したいことはありませんか ( )
30. 受診できない人 (理由 )

表 2

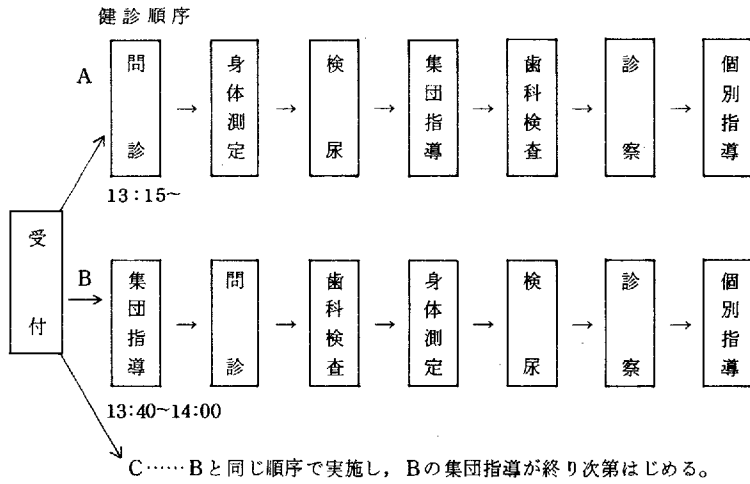


図 1

健診会場（市役所2階大会議室）

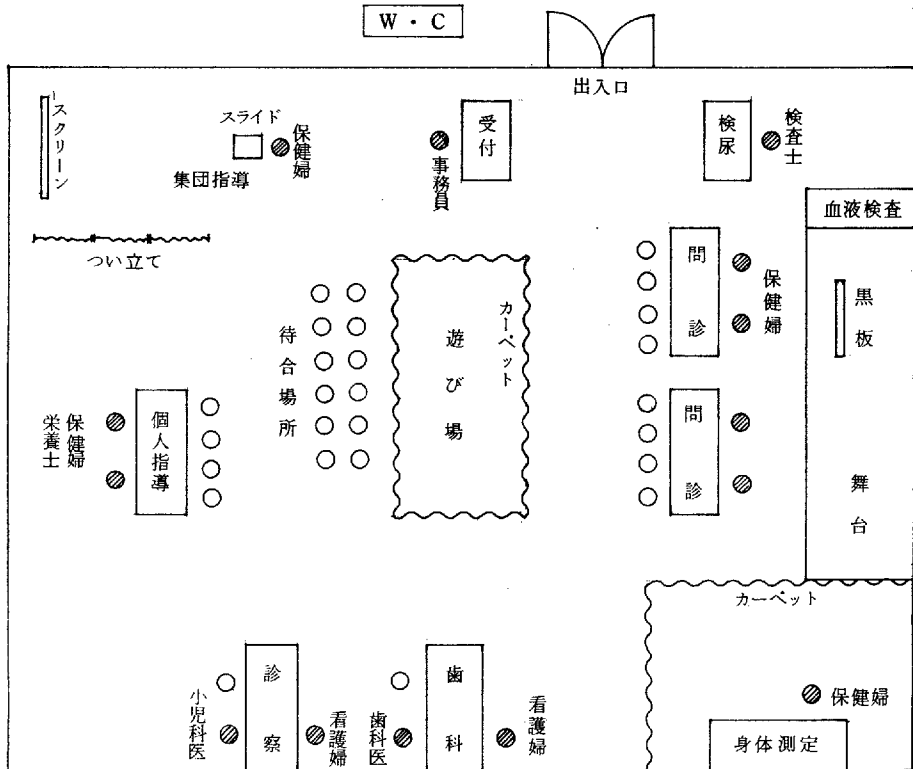


表 3

発 育

① 身長

97P < A	2	0.5%
90P ≤ A ≤ 97P	11	3.0
10P < A < 90P	292	80.1
3P ≤ A ≤ 10P	42	11.5
A < 3P	18	4.9
計	365	100

② 体重

97P < A	7	1.9%
90P ≤ A ≤ 97P	31	8.5
10P < A < 90P	299	81.9
3P ≤ A ≤ 10P	23	6.3
A < 3P	5	1.4
計	365	100

③ Kaup 指数

97P < A	13	3.6%
90P ≤ A ≤ 97P	38	10.4
10P < A < 90P	300	82.2
3P ≤ A ≤ 10P	10	2.7
A < 3P	4	1.1
計	365	100

第 4 表

タイムスタディ

	旧問診票 (平均)	新問診票 (平均)
問 診	12 分	9.2分
計 測	4.3	4.9
歯科検査	1.7	1.4
診 察	2.0	2.1
個人指導	4.7	4.2
集団指導	22.5	23.3
健診時間	108.9	107.1

↓  
**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります  
↓

## 1 緒言

1才6ヵ月児健康診断は幼児が健全なる運動機能の発達を示しているのか、離乳の完了と幼児食への移行が円滑に行われているのか、聴覚、視覚障害を有する幼児の早期発見としかるべき対策の実施、精神発達遅滞を有する幼児の早期発見とその対策の実施。う歯の防止と歯科学的検診指導。幼児の社会発達に関する適切なる評価並びに指導と母親の育児に対する理解の促進と学習指導により心身共に健全なる幼児の育成を目的とする健康診断である。